

学期	教材名	分野	教材提出の目的、ねらい、習得する学力等
1	詩を味わおう 支度	詩	感情をこめて音読する。 詩に慣れ親しむ。
	カレーライス	小説	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえる。 読んで考えたことを発表しあい、自分の考えを広げる。 感想文を書く。
	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	論文	筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表する。 自分の生活と時間のかかわりについて考える。
	学級討論会をしよう	討論	話し手の意図をとらえ、自分の意見を述べる。 場面に応じた言葉使いをする。
	森へ	随筆	五感を生かした状況描写に注意して想像力を持って読む。 人間と自然の関係について考える。
2	河鹿の屏風	小説	登場人物の相互関係や心情、場面をとらえる。 小説の楽しさに触れる。
	ようこそ わたしたちの町へ	発表 書く	書く事柄を収集し整理する。 読者を意識して構成、見出しなどを考え、自分の好きな店の紹介をし、クラスで冊子を作る。
	未来がよりよくあるために	討論	意見を聞きあって考えを深め意見文を書く。 集めた情報を整理する。 説得力のある意見文を書く。
	「平和について」 平和のとりでを築く	論文	平和について自分の意見を持つ。 原子爆弾が落ちた当時の人々の苦しみを理解する。
	生活の中の敬語	敬語	敬語の使い方に慣れる。 敬語を使う。
3	やまなし	小説	場面の描写をとらえ、作品の表現を味わいながら作品を豊かに読む。 読書の楽しみを知り他の作品を読む。
	イーハトーブの夢	伝記	宮沢賢治の生き方、ものの考え方について知り作品の理解を深める。
	鳥獣戯画を読む	解説文	筆者のものの見方をとらえ、自分のものの見方を広げる。 日本の古典に親しむ。
	伝えられてきたもの 柿山伏	古典	昔の人のものの見方や感じ方を知る。 日本の古典に慣れ親しむ。
	表現を選ぶ	解説文	話し言葉と書き言葉の違いに注意する。 場面に適切な表現で文を書く。
	心に響く手紙	手紙	恩師あてに手紙を書く。
	詩を味わおう 未知へ	詩	感情をこめて音読する。 詩に慣れ親しむ。

4	自然に学ぶ暮らし	解説文	筆者の考えと自分の考えを比べる。 自然から学んだことを考え、今の生活を見つめなおす。
	随筆を書こう 忘れられない言葉	随筆	随筆とは何かを学び、自分で随筆を書く。
	海の命	小説	作品を読んで人物の生き方について考える。 自分の生き方について考える。
	今、わたしは、ぼくは	発表	聞き手を意識して、伝えたいことを発表する。
	生き物はつながりの中に	解説文	筆者の意図を理解する。 文章に対して自分の考えを持つ。

上記の内容は諸事情により変更されることがあります。ご了承ください。